

(様式 2)

「桐生市コンパクトシティ計画（立地適正化計画）（原案）」に対する  
意見提出手続の結果

- 1 意見の募集期間 平成 30 年 11 月 12 日（月）～12 月 12 日（水）
- 2 意見の提出者数 3 人（電子メール 3 人）
- 3 意見の件数 23 件
- 4 担当部課 都市整備部都市計画課
- 5 提出された意見の要旨と考慮の結果

「桐生市コンパクトシティ計画（立地適正化計画）」に関する基本的考え方
「桐生市コンパクトシティ計画（立地適正化計画）」は、人口減少・少子高齢化が進行している中でも、持続可能な都市を形成するため、生活サービス施設（医療・福祉・子育て・教育文化・商業等）や居住の誘導により、まちをコンパクト化することで一定の区域内の人口密度を維持しながら、新たな都市構造の再編を行うための計画です。 したがいまして、いただいたご意見が上位計画や関連計画に対するものについては、今後の施策展開の参考とさせていただきます。

(1) 「計画の位置づけ」についての意見

番号	意見の要旨	考慮の結果（意見に対する市の考え方）
1	「ぐんま“まちづくりビジョン”桐生市アクションプログラム」、 「新市総合計画」、「構造改革特区・地域再生」などの各種都市づくり計画が並んでいるが、相互の上下関係や補完関係が不鮮明。PR 活動の一環としても、役割分担などを一度整理した形でまとめないと、全体として何をやろうとしているのかがわかり難い。	本計画の位置づけについては「2 コンパクトシティ計画の位置づけ」より、上位計画の「新生総合計画」及び「群馬県都市計画区域マスタープラン」に則しつつ、市の関連計画との連携・調整を図ることとしております。他計画の役割分担については、参考とさせていただきます。

(2) 「目標」についての意見

番号	意見の要旨	考慮の結果（意見に対する市の考え方）
2	コンパクトシティについて、桐生市がどのように対策を打ち、特徴を出していこうとしているのかが、判然としない。「〇〇の町、桐生市」のようなスローガンを作る	目標を「誰もが住みたいと思えるまち、誰もが住み続けたいくなるまち桐生」としてしております。

	(PR を兼ねて募集しても良い) ことも大切だと考える。	
--	------------------------------	--

(3) 「都市の骨格構造」についての意見

番号	意見の要旨	考慮の結果（意見に対する市の考え方）
3	桐生駅が中心になっているが、鉄道網は都市間交通の拠点であり、都市内交通の充実にプライオリティを置くコンパクト化とは相反するのではないか。	拠点は上位計画、将来人口密度、公共交通、都市機能の集積状況等を総合的に評価し設定しております。公共交通においては、桐生駅にJRやわたらせ渓谷鐵道、近接する西桐生駅に上毛電気鐵道があり、桐生駅はおりひめバスとの交通結節点ともなっているなど、都市内交通にも優れていると判断しました。

(4) 「誘導区域の設定」についての意見

番号	意見の要旨	考慮の結果（意見に対する市の考え方）
4	断層も含めた地震についても調査や検討が必要。	桐生市地震防災マップ等を参考にした結果、市街地の広範囲で地震の発生する可能性があり、誘導区域から除外することが現実的ではないことから、新築については新耐震基準に基づき建築されますので、その他の旧耐震基準の建築物については「桐生市耐震改修促進計画」に基づき、建築物の耐震改修を適切に進めてまいります。

(5) 「誘導施設」についての意見

番号	意見の要旨	考慮の結果（意見に対する市の考え方）
5	市役所を一つの建物にする必要はなく、中央センター的なものは必要かもしれないが、分散型にした方が良い。インターネット連結の上で、窓口業務はどの支所でも全て行える方式にした方が使いやすい。	ご意見を参考として市民の利便性向上に努めてまいります。
6	機能区分として、日常(ウィークデー)と非日常(週末)の様な区分の方法もある。日常生活動線を考え	日常生活動線は起点である自宅から終点である仕事先となるため、その間に施設を配置することが良いと考えます。そ

	ると、仕事先の近くに保育所や病院がある方が良く、中心街に子育て機関を集約するのは不便ではないか。「子育て世代の働く女性中心の街づくり」をもっと深く追求することで、住みやすい街の設計に役立つと考える。	のため、都市機能誘導区域内に子育て機能や病院を誘導することで、まちなかに子育て世代の居住の誘導を図りたいと考えております。
7	食料をメインとした小型商業施設を誘致する。	商業機能について、大型商業施設については誘導施設としております。小型商業施設については、身近な生活施設として地域に広く分布していることが望ましいと判断し誘導施設に設定しませんでした。

(6)「誘導施策」についての意見

番号	意見の要旨	考慮の結果（意見に対する市の考え方）
8	拠点間を公共交通ネットワークで結ぶのは必須だが、拠点内にもネットワークを張り巡らす必要がある。	「都市機能誘導区域における施策」において、「多様な移動手段を活用した回遊性の向上」として都市機能誘導区域内の回遊性について記載しております。

(7)「地域連携」についての意見

番号	意見の要旨	考慮の結果（意見に対する市の考え方）
9	重伝建や三大市あるいはエポック倶楽部のような、民間や自治活動に多くをゆだねられている「まちづくり」の動きと、早期の計画段階で連絡を取っておく必要性を感じる。	各拠点のエリアマネージメントグループ、地元有志による協議会の設置には、市民や事業者などの協力が必要であるため、市民や事業者などの機運の高まりも踏まえて設置については判断していきたいと考えております。
10	各拠点にエリアマネージメントグループを設け、具体的に検討してもらう。	なお、計画段階においては、外部の有識者によるまちづくり検討委員会を立ち上げ議論を重ね、関係機関や市民の方などにはパブコメや説明会、パネル展示、各関係機関に説明にあがるなど周知を図ってまいりました。
11	説明会と共に、有志による協議会を活性化させる。関心が高い人のミーティングを重ねる。町会の集会とはしない（地域エゴがでてしまう）。	

(8)「目標値の設定と評価」についての意見

番号	意見の要旨	考慮の結果（意見に対する市の考え方）
12	<p>都市のコンパクト化の必要性は、インフラ維持の問題が大きい。単位面積当たりのインフラ維持費用と税収および支出(特に民生費など)のバランスで決まってくる。従って、将来的な税の収支予測をたてれば、維持可能面積や達成必要時期が決まってくるのではないか。これを数値で明確にしておけば、税収変動等があった場合に計画を見直すことができると考える。</p>	<p>人口減少・少子高齢化や地価の下落などにより、市税収入が減少し、社会保障関係費が増加していくことが予想されますので、既存インフラを有効活用した効率的な都市経営を行わなければならないと考えておりますので、インフラの維持管理につきましては、各関係部署で長期寿命化計画等の作成や検討を行い経営の健全化に努めてまいります。</p>
13	<p>本計画の市民の認識度は十分に高いとは言えない。時期と目標値を定めて外部機関で定期的に評価をして貰うようなシステムが必要と考える。</p> <p>○年度末までには、市民への無作為聞き取り調査で○%以上の認知度を指すなどまた、PR活動と言う意味では、小中高のカリキュラムに取り入れる</p>	<p>市民認知につきましては、現在までにパブリックコメント、講演会、説明会、パネル展示など従来の方法だけでなく、多様な方法を試行錯誤し実施してまいりました。今後も市民の皆さまにご理解いただけるよう、計画の周知を図ってまいります。</p>

(9)「その他」についての意見

番号	意見の要旨	考慮の結果（意見に対する市の考え方）
14	<p>アパートを建てて、高齢者に提供し、高齢者が住んでいた家はリフォームして、若い世代を呼び込む。</p>	<p>ご意見は参考とさせていただきます。</p> <p>なお、群馬県で、持ち家が比較的に多い一方、ゆとりある住宅を求めている子育て世帯があり、各世帯に適した住宅への住みかえが進むよう「群馬県空き家活用・住みかえ支援事業」を実施しております。</p>
15	<p>車よりも電車で通勤した方が良いと思えないと中々電車を使おうと思わない。LRTを導入することで朝の交通渋滞</p>	<p>上毛電気鉄道と沿線3市でつくる上電沿線市連絡協議会において、LRT導入の可能性調査の結果が公表され、前橋市では、「現状では導入は不可能」との</p>

	の緩和や排気ガスの減少が見込まれると思う。また、LRTと自動運転技術を組み合わせることで人件費も減らせる。	見解が出ていることから、本市においても早急な導入は難しいと考えております。
16	市民共働型コミュニティバスを運用する（電動バスMAYUを運用し、ルート、停留所、ダイヤ、運賃、回数券の販売、広告取り等を市民が行う。）	ご意見は今後の交通施策を考える上での参考とさせていただきます。 なお、群馬大学ではMAYUを活用し、堤町、菱町において、自治会・町会主導での運用の仕組みづくりを目指した実験を実施しており、本市も側面的な支援を行っております。
17	群馬大学工学部の協力を得て、若い人の意見を聞く、アンケート、データ収集に協力してもらう。	ご意見は参考とさせていただきます。 なお、今年度、群馬大学理工学部・大学院理工学府の学生と市長の懇談会を開催し、ご意見を多数いただきましたので、その反映に努めてまいります。
18	若者の働き場をつくるか、誘致する。	ご意見は参考とさせていただきます。 なお、工業団地の造成や創業者支援などにより雇用の創出に努めてまいります。
19	地域ポイントカードを発行する。	ご意見は参考とさせていただきます。
20	職人を呼び込み（桐生織、桐生和紙、めん・そばづくり、古民家改修、伝統工芸・・・）、工場跡地を貸し出す。	ご意見は参考とさせていただきます。 なお、市内の工房の設置を促進するため、市内に新たに工房を設置しようとする個人事業主や小規模企業者に対し、「桐生市新規工房開設補助金」による支援を行っております。
21	観光事業を発展させる。	ご意見は参考とさせていただきます。 なお、観光振興はまちづくりにおいて重要な施策であるため、地域活性化に繋がるよう関係部署と連携してまいります。
22	コンパクトシティ計画とあわせ、「魅力ある街づくり」の推進は継続してゆく必要があるため、「魅力ある」の視	ご意見は参考とさせていただきます。

点について、幾つか意見を上げておく。

#### 防犯強化都市

プライバシーの問題をクリアする必要はあるが、行政が管轄権を持つ防犯カメラを数多く計画的に設置することで、事故や犯罪の防止等に役立てて安全に住める街にする。

#### 電動車いすの普及促進

数百メートルが歩けない高齢者は多く、歩く機会が減り歩行力がさらに落ちるといった、負のスパイラルに陥っている。電動車いすはこうした状況に非常に有効であるが、高価であり、障害者用と言う認識が強いためか普及率は低い。

高齢者にとり非常に有効な移動手段であるため、普及(公共充電ステーション等のインフラ設置も含む)は、意外と大きなキーである。

#### 子育て世代の働く女性中心の街づくり

昔の様に城を中心とした中央集権的なイメージで街の構想図を考えると、実際に住む人に取り、不便な街になる可能性が高い。現在の世の中で一番忙しいのは「子育て世代の働く女性」ではないかと考える。この部分をもっと深く

	<p>追求することで、住みやすい街の設計に役立つと考える。</p> <p>群大生の取り組み 群大(工学府)との産学連携等の取り組みはあるが、学生には焦点が当てられていない。</p> <p>市民清掃や河川清掃、自治会の廃品回収・運動会・まつりといった市民活動への参加自体を、卒業単位の一つとして取り入れてもらう方法が考えられる。市民と学生相互に顔が見えるようになり、徐々に交流が高まれば、卒業後の定着といった可能性も見えてくる。</p>	
23	<p>コンパクトシティ化の必要性要因としては、インフラ維持費の問題は避けては通れない。同じ道路のガス・上水道・下水道の工事を類似時期でありながら別々に行うようなことは極力避けるべきである。今後、更新が活発になってくることを考えると、早い段階から連携システムの構築に着手すべきである。</p>	<p>ご意見は参考とさせていただきます。</p> <p>なお、年に4回「道路工事連絡調整会議」を開催し、道路工事の相互調整を行っております。</p>